

よどがわ市民生協の 能登半島震災復興支援報告②

2024年元旦に『令和6年能登半島地震』が発生し、よどがわ市民生協も被災地へ心を寄せて、さまざまな支援を行いました。



組合員へ緊急募金の呼びかけ

1月4回～5月1回の注文書にて組合員へ緊急募金を呼びかけ、8,387人のご協力をいただきました。募金は、日本生協連を通じて各市町村の被災者への義援金・災害地支援金や、被災したよどがわ市民生協の取引先へ被災状況に応じてお見舞金としてお届けします。

総額 **1,044万3,200円**

よどがわ市民生協エリアへの 避難者支援 **期間延長**

よどがわ市民生協の活動エリアへ一時的に仮住まいおよび転居して避難している被災者で、生協の利用を希望している人へ、個人宅配の手数料無料(1年間)措置を2025年3月21日(金)まで実施します。

【お問い合わせ】
コールセンター 0120-727-263
月～金 9時～21時/土 9時～17時

現地での支援活動

コープいしかわへの支援

日本生協連を通じて全国の生協の支援活動を呼び掛けています。よどがわ市民生協からは、3月10日(日)～16日(土)の期間に第2陣が現地支援に入りました。

【配送支援】

今回は、のと北センターにて活動し、輪島市の組合員さんの利用再開にむけての案内を行いました。鶴来センターでも配送支援を行いました。この地域は風が非常に強いため、シッパーや注文書が飛ばされないように注意しました。配送支援の指導してくれたコープいしかわ職員自身も被災しており、自宅は断水のため、近くのお風呂屋さんを1時間待ちで利用し



ていて、生活も大変だと話していました。

【コープ被災地支援センターでの活動】

家具の片づけや清掃など被災者の声にこたえる『コープ被災地支援センター』を日本生協連が立ち上げ、コープいしかわ職員が運営しています。3月25日(月)～29日(金)・4月22日(月)～27日(土)・5月3日(金)～7日(火)に、それぞれの職員が参加しました。



最終日に鶴来センターのみなさんから『感謝』と描かれた手作りキーホルダーをいただきました。

大阪府生協連による生協職員ボランティア活動

大阪府生協連のボランティアは、金曜日23時出発し、土曜日朝から活動を行い、土曜日19時出発で日曜日の朝に大阪へ到着して解散となるスケジュールです。

現地当日の活動として3月16日(土)と4月13日(土)に、職員が参加しました。現地に到着後、お昼の「炊き出し組」と「住宅片づけ作業組」に分かれて活動を行いました。夜は鶴川仮設住宅と富山県生協連の柳田支所に分かれ、きつねうどんやたこ焼き、焼き鳥などを提供しました。今回もたこ焼きが1番人気だったようです。

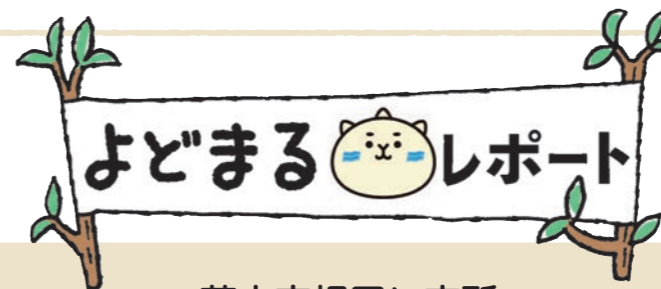


★ゴールデンウィーク中にも実施★

5月6日(月)に石川県能登町と輪島市で炊き出しを行いました。能登町の小間生公民館では、タイ産産直登録バナナの取引先であるパシフィック・トレード・ジャパンさんから提供していただいたタイ産バナナを配布しました。



今後とも被災地支援への呼びかけに、ご協力をよろしくお願いいたします



023 茨木市畑田に支所 移転用地を購入しました

配送効率の改善をすすめ、 働きやすい環境へ！

コロナ禍の影響により共同購入の利用高が大幅に増え、配送センター(支所)の倉庫が手狭になっていることや、働く人の労働環境を改善することなどのために、第2支所配送センターの移転先を探していました。

この度移転先用地として、茨木市畑田に3,688㎡(1,115.8坪)の土地を購入しました。JR茨木駅から

徒歩圏内に位置します。

新支所を建設することで、増床した土地と事務所スペースを活用して、食堂の充実・休憩室の確保・夏場の暑さ対策などの検討を行い、労働環境を改善し、誰もが働きやすい支所づくりをすすめます。

また、最新の設備を設置することで、商品の管理を一層強化します。さらに、支所の配置変更により配送の移動時間の短縮を図り、配送効率の向上をすすめます。

今後、働く人の意見も聞き、活用方法や設置する設備、環境への配慮などの検討を重ねていく予定です。



「よどまる応援基金」で お米を購入し子ども食堂などへ提供しました

よどまる応援基金とは…

よどがわ市民生協では、エリア内の子ども食堂やシングルマザー支援団体などを応援し、地域の課題解決に取り組むことを目的に食材提供などの支援を行っています。その中で組合員さんからの「地域で活動している団体のために、何か力になりたい」という声を受け、2024年1月より「よどまる応援基金」がスタートしました。いただいた募金を提供する食材の購入などに活用する取り組みです。



くわしくは
こちら



初年度分はお米を購入し提供しました

2023年度(2024年1月～3月20日)は、126人の組合員さんから4万6,000円の募金をいただき、慢性的に不足していたお米を21袋購入しました。4月より、食材提供協定を結んでいる各団体へ提供し始めています。

「お米やお菓子など、子ども食堂を開催する上で絶対に必要なものをいただけるので、生協さんからの食材はありがたいです。参加する子どもの食事は無料で、運営もボランティア。食材をいただけることで、補助金で賄っている運営費を他に充てることができます。本当に助かっています。」

(摂津市：いやし園ぶくぶく食堂・原田さん)



毎週受付中～♪

● よどまる応援基金のご案内 ●

子ども食堂などへ安定的に食材を提供するため募金にご協力ください。
※この募金は所得税の寄付金控除の対象となりません。

募金方法 注文書の4ケタ・6ケタ注文欄「001419」に個数(1=100円)を記入。インターネット注文「eフレズ」でも募金できます。

